

研究課題「破裂血豆動脈瘤における脳血管撮影上の特徴的画像所見に関する観察研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2008年1月1日～2020年12月31日に当院、名古屋大学関連病院で破裂血豆動脈瘤と診断され、血管内治療を受けた全ての方を対象とします。また、比較対象として、2015年1月1日～2020年3月31日に当院で傍鞍部内頸動脈瘤（動脈瘤サイズ：5mm以下）と診断さ

れ、血管内治療を受けた全ての患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

破裂血豆状動脈瘤（blood blister-like aneurysm: BBA）とは、頭蓋内内頸動脈解離性脳動脈瘤の一部として知られています。BBAは頭蓋内内頸動脈の非分岐部に発生し、動脈瘤全体の1.0%と程度、内頸動脈瘤の中では3.3%程度と稀な疾患です。病理学的に解離性動脈瘤の要素を呈していると報告されており、確定診断は病理学的に行われますが、通常臨床現場では臨床所見、画像所見からBBAと診断されることが大半です。臨床現場では画像読影に習熟した者の判断で診断されており、確定的な画像所見の記載はこれまでになく、判断が難しい場合も多数存在します。本研究によって、BBAの特徴的な画像所見について検討し、診断効率の向上を図ることを目的とします。

研究実施期間は承認日から2022年3月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

下記の如く、診療目的で採取された既存情報を使用します。

1 基本情報

- a) 診断日、治療日
- b) 年齢、性別
- c) 治療施設
- d) 治療法

2 放射線学的データ

- ・ 頭部MRI（臨床用MR装置にて撮像）
- ・ 造影3DCT画像
- ・ 脳血管撮影検査画像

3 転帰

- ・再発の有無

4. 外部への試料・情報の提供

春日井市民病院、JA 愛知厚生連 江南厚生病院、JR 東海 名古屋セントラル病院、静岡済生会総合病院、西尾市民病院、大同病院において、名古屋大学の脳神経外科医師が BBA に対してカテーテル治療を行った患者さんの必要な情報、画像データを抽出します。研究に用いる情報に関しては、当院において厳重に保管・管理を行います。研究対象者の個人情報には匿名化し、対象者を特定するための連絡表は作成しません。また個人が特定される様な情報が外部へ提供されることはありません。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科 泉孝嗣

名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科 加藤直毅

「既存試料・情報の提供のみを行う機関」

- ・春日井市民病院 脳神経外科 林重正
- ・JA 愛知厚生連 江南厚生病院 脳神経外科 水谷信彦
- ・JR 東海 名古屋セントラル病院 脳神経外科 中原紀元
- ・静岡済生会総合病院 脳神経外科 石山純三
- ・西尾市民病院 脳神経外科 横江敏雄
- ・大同病院 脳神経外科 倉光俊一郎

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

名古屋大学医学部附属病院 脳神経外科

〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町6-5 研究棟1号館

052-741-2353

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科学 准教授 泉 孝嗣

研究代表者：名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科学 准教授 泉 孝嗣